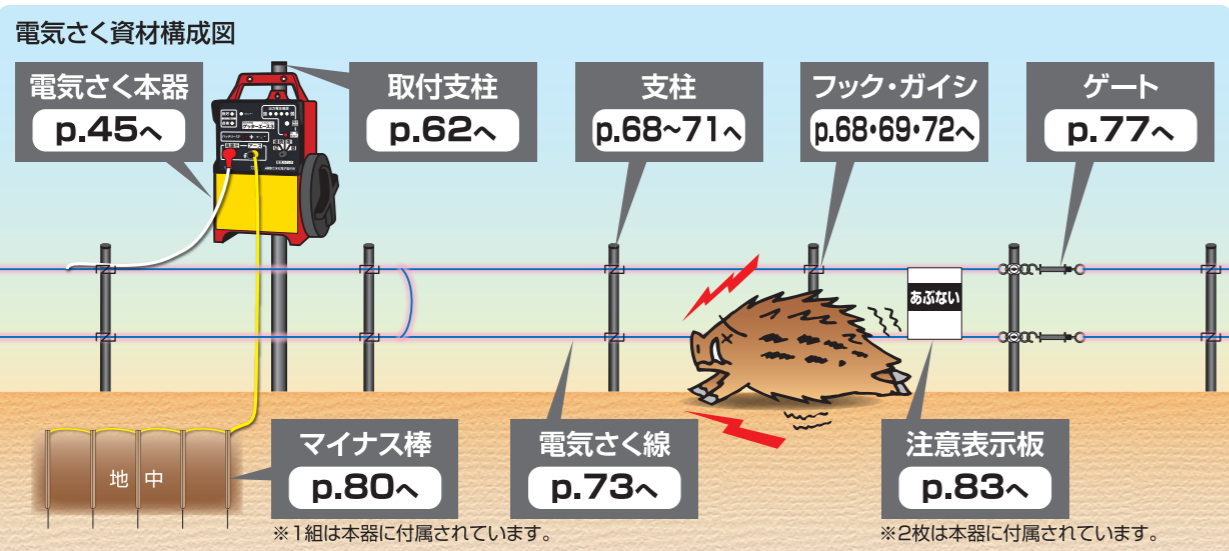
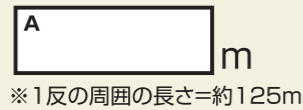


電気さく資材の基本的な選び方



1. 必要な資材を選ぶために、以下の設置条件をまず確認しましょう。

●電気さくを設置する長さを測る



●対象動物の確認

動物によって電気さくの張り方が変わります。詳しくは、対象動物別おすすめセットのページを参照ください。

対象動物	おすすめの張り方
イノシシ	2段張り
タヌキ	3段張り
シカ	5段張り

2. 設置条件を元にした必要資材の割り出し方

●電気さく線(コード)の総電線長の算出方法 (設置に必要なさく線の長さ)

$$\text{設置する場所の長さ } A \text{ m} \times \text{電気さく線の段数 } B \text{ 段} = \text{総電線長 } D \text{ m}$$

●支柱の必要数の出し方

$$\text{設置する場所の長さ } A \text{ m} \div \text{支柱の間隔 } \text{ m} = \text{支柱の必要数 } C \text{ 本}$$

支柱の間隔は、こちらを参考にしてください。
 ・平坦(圃場整備されている)…約4m
 ・平坦(圃場整備されていない)…約3m
 ・棚田や斜面…約2.5m
 例) 斜面の場合 500m ÷ 2.5m = 200本

●ガイシ・フックの必要数の出し方

$$\text{支柱の必要数 } C \text{ 本} \times \text{電気さく線の段数 } B \text{ 段} = \text{必要数 } \text{ 個}$$

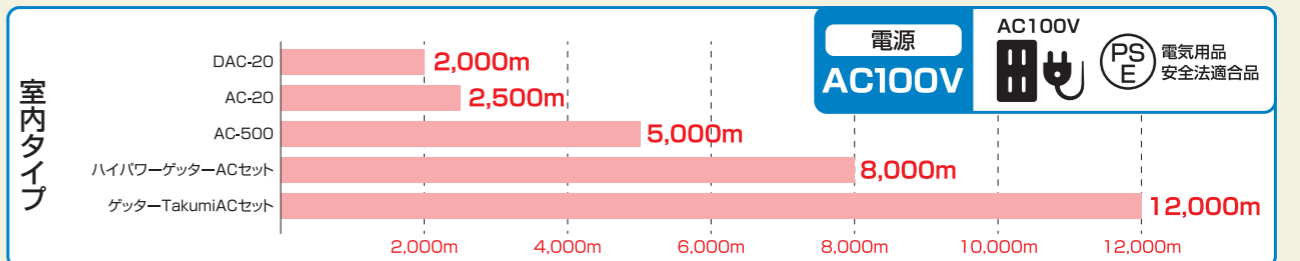
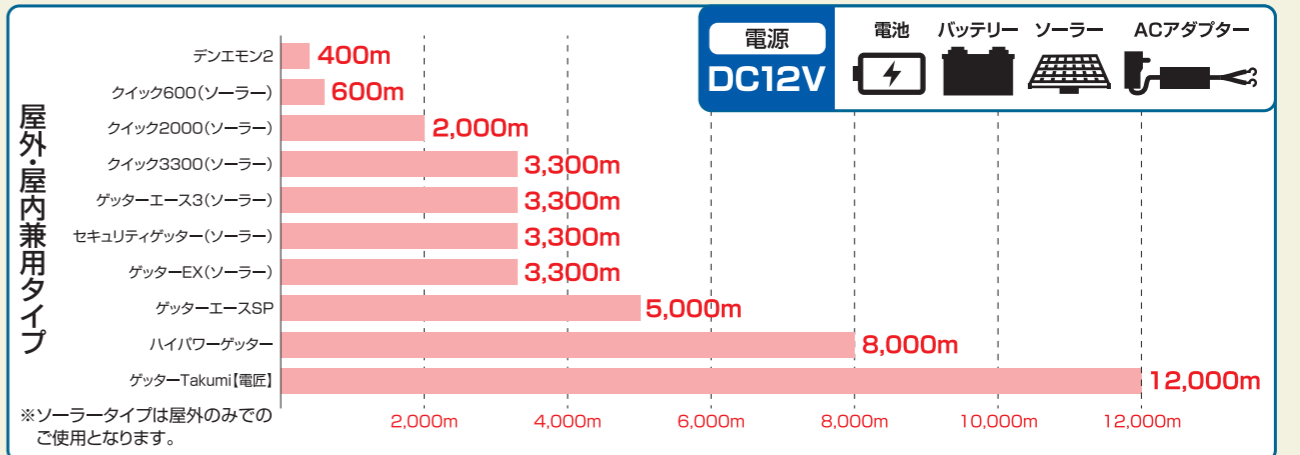
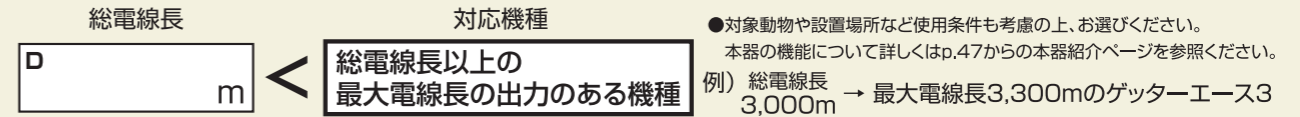
3. 出入り口に必要資材の割り出し方

●ゲートの必要数の出し方

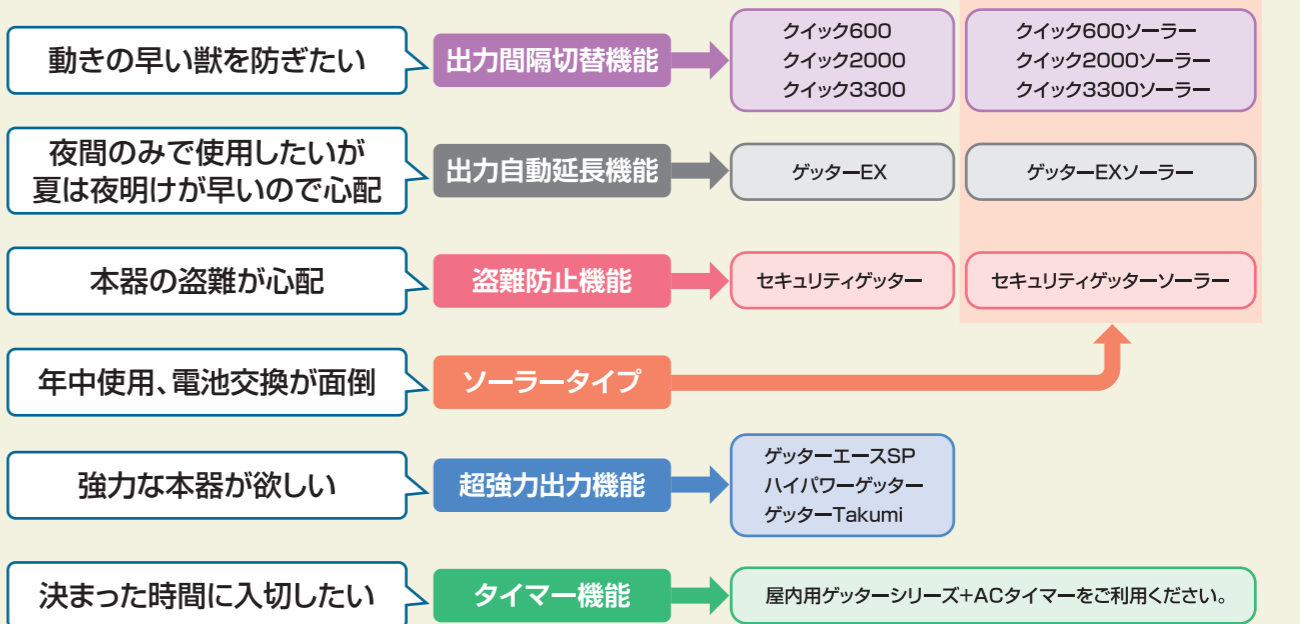
$$\text{出入り口の数 } \text{ 箇所} \times \text{電気さく線の段数 } B \text{ 段} = \text{必要数 } \text{ 個}$$

4. 電気さく本器(電気さく用電源装置)の選び方の目安

●総電線長を超える最大電線長の出力がある機種を選ぶ



●機能で選ぶ



※価格および商品の仕様・外観は改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
 ※価格には運賃や設置費は含まれておりません。別途申し受けます。※税込価格の税率は10%です。